

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">~2022</div> 社会福祉学特別研究Ⅱ	担当教員	単位数	配当学年
	田中 治和	8単位	2年
		履修方法(授業形態)	
		SR(演習)	

■事前に受講してほしい講義等

社会福祉学特別研究Ⅰ、社会福祉学原理演習

■授業のテーマ

社会福祉学の基本問題に関する研究、及び高齢者福祉実践の基礎研究

■授業の目的

自らの研究課題（主として社会福祉学の基本問題—原理、思想及び理論、高齢者福祉実践の基礎研究等）を、学術論文の作法に基づいて、修士論文を作成する。

■授業の到達目標

- ①自らの研究課題を再吟味できる。
- ②先行研究（文献や資料の探索・蒐集）を整理できる。
- ③学術論文の基礎的な作法を習得できる。
- ④修士論文が作成できる。

■授業の概要（内容）

- ①研究課題について話し合う。
- ②論題の仮説設定を行う。
- ③先行研究の探索と蒐集の方法について助言・指導等を行う。
- ④研究倫理について指導する。
- ⑤構想（中間）発表を行い、助言・指導等を行う。
- ⑥必要に応じて、適宜論文指導を行う。
- ⑦構想（最終）発表を行い、助言・指導等を行う。
- ⑧修士論文完成を目指して、助言・指導等を行う。

■授業の方法

個別指導

■授業時間外学修（予習・復習等）

- ①一学年時にできるだけ、スクーリングやレポート作成を修了しておいてください。
- ②日々の生活や業務においても、自らの研究課題を温めておいてください。

■評価の方法・基準（評価割合）

研究方法の適切性（50%）＋論文作成能力（50%）

■特記事項

どうぞ遠慮なく担当教員に会ってください。案外雑談？の中から、良い修士論文のヒントが見つかることがあります。

■履修上の注意事項

3回以上の面接指導と2回以上の通信指導受けること。3回のレジюме（構想レジюме・第1回中間レジюме・第2回中間レジюме）提出が必須。

■論文作成の流れとポイント（テーマ・内容等）

	授業の内容
1	担当教員の自己紹介、と履修者の希望内容
2	修士（社会福祉学）の意味と課題
3	学術論文とは何か（作文、小説、評論等との違い）
4	学術論文の作成のための参考文献の紹介と選定
5	研究課題の吟味
6	研究課題の再吟味と論題の仮説設定
7	先行研究（文献や資料の蒐集）の整理①
8	先行研究（文献や資料の蒐集）の整理②
9	先行研究（文献や資料の蒐集）の整理③
10	先行研究（文献や資料の蒐集）の整理④
11	先行研究（文献や資料の蒐集）の整理⑤
12	構想（中間）発表と助言・指導
13	論文作成（調査を含む）①
14	論文作成（調査を含む）②
15	論文作成（調査を含む）③
16	論文作成（調査を含む）④
17	論文作成（調査を含む）⑤
18	構想（最終）発表と助言・指導
19	論文作成⑥
20	論文作成⑦
21	論文作成⑧
22	論文作成⑨
23	論文作成⑩
24	総括的かつ最終的な論文指導と点検①
25	総括的かつ最終的な論文指導と点検②
26	論文作成⑪
27	論文作成⑫
28	修士論文としての取りまとめ作業①
29	修士論文としての取りまとめ作業②
30	修士論文口述諮問に向けての指導

■参考書・参考資料・参考 URL 等

個別的に参考文等の紹介・選定を予定しています。共通なものとして、斉藤孝・西岡達裕『学術論文の技法【新訂版】』日本エディタースクール出版部、2011年。

■備 考

シラバスは、個別的指導、並びにやむをえない事情により変更する場合があります。予めご承知おきください。